平成20年度の事業報告書

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

第五期事業報告書

Ⅰ　事業期間

平成20年4月1日～平成21年3月31日

Ⅱ　事業の成果

第五期の当法人の活動は、他分野にまたがるネットワークの形成とともに、他者の記憶を聴き取り「場所のちから」を呼び起こすプロジェクトを行い、社会における「表現の可能性」をさらに拓くものとなりました。西成区の商店街・動物園前一番街においた拠点「インフォショップ・カフェ　ココルーム」は誰でも立ち寄れる場所として地域と密着した活動となっています。釜ヶ崎地域をはじめて訪れる人に案内をしたり、ボランティア活動に興味のある人には他団体を紹介するなど、積極的に地域の窓口機能を果たしました。また地域内で問題を抱える人たちが訪れたさいには、相談機関を紹介するなど、橋渡し的な役割も果たしました。

年度当初には、これまでの活動を総括した「こころのたねとして」（ココルーム文庫）を発行し、活動の検証と今後の展開をみつめました。

「むすびプロジェクト」は生活保護受給者と高齢者問題へのアートのアプローチは評価がたかく、さまざまな公演に招聘されています。
この事例を発展させ、「生活保護を受給する独居高齢者の生きがい・居場所・セーフティネットの構築に関わるスタッフ育成」（大和証券助成）では、スタッフを数カ所の団体に研修受け入れをしてもらい、人材育成につとめました。

アウトリーチにも活発に取り組み「釜ヶ崎のこどもたちと高齢者の表現とまち再発見」（コミュニティハウジング財団助成）、「釜ヶ崎の子どもたちの教育とコミュニケーションを向上するワークショップ」（ドコモ助成）では、釜ヶ崎にある「子どもの里」へのワークショップを定期的に行いました。釜ヶ崎に生きる人たちの聴き取りを行い作品化を行う「こころのたねとして2008in釜ヶ崎」を行い、これらの取り組みをまとめ、大阪市立大学とともにシンポジウム「場所の力」を実施しました。

障がいを持つ人とアーティスト、市民とともに取り組む「ちんどんチャンス！」は助成金は得られませんでしたが、アーティストの協力により活動を継続しています。

2008年12月から月に一回、地域内の野宿者のかたに「山王ミニ夜回り」を開始し、障がいをもつ人や遠方から来た人たちとともにアート的工夫をもった夜回りを行っています。

今年度も、アートと社会をむすぶ包摂的モデルとしての場作りを行い、分断された個人や閉塞化した共同体を「アート」という手法でエンパワメントし、網の目のつながりを構築しました。そのさいアートはつなぎ役、媒介の役目を果たし、表現のもつ自律性によって互いに関わ

りあうことができます。「コミュニティアート」という言葉が使われはじめたことにも社会的にも認知がはじまったといえます。

しかしながら、非営利性の高い事業に取り組みつづけることは、運営基盤が脆弱なアートNPOには継続が難しいともいえます。事業委託や助成金の獲得、ボランティアの積極的な取り組み、また多くの応援ネットワークによって運営の基盤を得ることができましたが、制度作りにも着手していく必要性を感じています。

活動の報告と広報を兼ねるフリーペーパー「ぽえ犬通信」を発行/配布し、インターネット上でもウェブサイト「Web cocoroom」を運営/管理、メールマガジン「ココルームからのお便り」を発行し、周知につとめています。

表現と社会をつなぐためのボトムアップとして、一般市民を対象とした詩のワークショップ「詩の学校」を大阪/京都で昨年度につづき継続開催。同ワークショップはその他の地域などでも、こどもや大人にむけて開催いたしました。

東淀川区の拠点では、ちんどんチャンス！のワークショップや「ACP〜アートと社会の接続点」（大阪市事業委託）のシンポジウムを行いました。

第五期の特徴として、釜ヶ崎に拠点形成により、地域のつながりの場作りに励んだことがあげられます。
こえとことばを中心とした表現活動の活性化の場とメディア提供を目的として、新世界フェスティバルゲート内で、交流スペース「cocoroom」を運営/管理してきましたが、07年７月に営業を停止し、12月まで事務所機能のみとなり、2007年末に西成区と東淀川区に転居しました。西成区では、これまでの活動を評価してくださった地元の方の紹介で商店街のなかに賃貸契約をむすび、「インフォショップ・カフェ　ココルーム」として事務所兼カフェを構え、地域に密着した活動となっています。

当法人の得意とする手法は、人々がであい交流し、コミュニケーションが育まれることにあります。また芸術に日頃接していなくてもともに表現し作品づくりをする、という限界芸術的なアプローチを用います。そこにアーティストが介在することによって、ダイナミズムが生まれます。こういった取り組みは市民や各行政機関やメディアなどから支持されている手応えを感じています。しかしながら、2008年秋の不況をうけて失業の問題など、社会の課題は深刻さを増しています。とくに釜ヶ崎では喧嘩や事件が絶えません。そのなかで、アートが社会にどのように関われるのか、というのは悠長な取り組みのように思えます。そこで、アートの役割を本質的にみつめ、次年度は「カマン！メディアセンター」をオープンし、人々の交流と表現の機会を創出し、「つながり」をつくる試みに挑戦します。より公共性を高めた本取り組みは、脆弱な当法人の運営基盤では課題が多いのですが、大阪市立大学の協働をはじめ、評価の仕組みを取り入れながら、幅広くネットワーク化し、あらたなアートの価値を構築し、社会との関わりを具体的にさぐっていきます。アートがもたらす公共性や普遍性を見いだし、社会に寄与していきます。

Ⅲ　事業の実施状況

１．特定非営利活動に係る事業

（１）鑑賞及び発表機会提供事業

［事業名］　鑑賞及び発表機会提供事業
［内　容］　「朗読の夕べ」ほか
［実施場所］　インフォショップ・カフェ　ココルーム
［実施日時］　年度内で随時実施
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　¥　0
［支　出］　¥　0

（２）交流スペース及び市民相談窓口管理事業

［事業名］　交流スペース及び市民相談窓口管理事業
［内　容］　交流スペース「インフォショップ・カフェ　ココルーム」を管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによるつながりづくりを実施した
［実施場所］　インフォショップ・カフェ　ココルーム
［実施日時］　毎日12時から22時
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　¥　1,227,100-
［支　出］　¥　1,144,106-

（３）調査・研究とその発表の為の放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

［事業名］　フリーペーパー発行及びウェブ制作事業
［内　容］　フリーペーパー「ぽえ犬通信」(隔月刊)発行とウェブページ「web cocoroom」を制作・管理・運営することにより、本NPOの事業内容の紹介と調査・研究内容の周知に務めた。
［実施場所］　大阪市西成区山王1-15-11
［実施日時］　「こころのたねとして」(ココルーム文庫) 1000部発行
「ぽえ犬通信」22号　1万部発行
「web cocoroom」随時更新
メールマガジン「ぽえ犬通信」及び「cocoroomからのお便り」は隔週発行など
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　¥　0-
［支　出］　¥　129,737-

（４）事業名　人材育成、教育プログラムおよびアウトリーチ事業

［事業名］　「生活保護を受給する独居高齢者の生きがい・居場所・セーフティネットの構築に関わるスタッフ育成」(大和証券助成)
［内　容］　スタッフ研修をおこない、経験を高めネットワークを構築する
［実施場所］　大阪、東京、奈良

［実施日時］　2008年4月1ー2009年3月31日
［事業の対象者］　スタッフ

［事業名］　ワークショップ人材派遣事業
［内　容］　「詩の学校」と題した詩のワークショップを大阪と京都でそれぞれ隔週開催。
［実施場所］　應典院(大阪市)、京都芸術センター(京都市)、
［実施日時］　各月最終水曜日の19:30ー21:30(應典院)、各月最終木曜日の19:00ー21:00(京都芸術センター)
［事業の対象者］　一般市民

［事業名］　アウトリーチ事業
［内　容］　「釜ヶ崎のこどもたちと高齢者の表現とまち再発見」(コミュニティハウジング財団助成)、「釜ヶ崎の子どもたちの教育とコミュニケーションを向上するワークショップ」(ドコモ助成) ほか
［実施場所］　西成区「子どもの里」
［実施日時］　2008年6月～2009年3月
［事業の対象者］　こども

［収　入］　¥　5,509,720-
［支　出］　¥　5,088,524-

［特記事項］
尚、上記の非営利事業にかかる財源として、
1- 助成金等収入　¥3,500,000
2- 寄付金等収入　¥128,060
3- 事業受託収入　¥1,500,000
4- 新規事業収入　¥0
5- その他事業会計繰入金収入　¥0

などを充当することで、管理を含め、事業展開を行った。

２．その他の事業
［事業実施方針］
アーティストやアルコール依存症の人のリハビリ作品等の販売事業、アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門事業を行うことで、その収益を特定非営利活動に係わる事業の運用資金に充てることを目的とする。

（２）販売事業
［事業名］　販売事業
［内　容］　アーティストの作品、アルコール依存症の人のリハビリ作品等等を販売

する。

［実施場所］　インフォショップ・カフェ　ココルーム
および当法人のウェブサイトなど

［実施日時］　不定休の12時から22時

［事業の対象者］　一般市民

［収　入］　¥0-

［支　出］　¥0-

（３）クリエイティブ部門事業

［事業名］　クリエイティブ部門事業

［内　容］　アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門を開設し公共機関や一般企業相手の窓口となる。

［実施場所］　大阪市西成区山王1-15-11

［実施日時］　不定休の12時から23時

［事業の対象者］　一般市民

［収　入］　¥0-

［支　出］　¥0-

Ⅳ　社員総会の開催状況

理事会その他の役員会の開催状況

第5回定時総会

［日　時］　2009年6月22日　15時から16時

［場　所］　大阪市西成区山王1-15-11 インフォショップ・カフェ　ココルーム

［社員総数］　15名

［出席者数］　6名（委任状提出者4名）

［内　容］

第1号議案　2008年度事業報告書承認の件
審議の結果、満場異議なく承認可決。

第2号議案　2008年度決算承認並びに監査報告に関する承認の件
審議の結果、満場異議なく承認可決。

第3号議案　今後の展開について
審議の結果、満場異議なく承認可決。

報告事項　2009年度の事業計画及び収支予算報告の件
議長の指名により、朝田旦副代表理事から
報告がなされた。